＜日商簿記２級商業簿記ミニテスト　固定資産＞　問題

＜問題１＞

下記の取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選び、正確に記入すること。

当座預金	電子記録債務	別段預金	買掛金	電子記録債権
手形売却益	普通預金	支払利息	備品減価償却累計額	預り金
固定資産圧縮損	国庫補助金受贈益	備品	減価償却費	雑益

① ×1年4月1日　A社は、国から補助金500,000を受け取り、ただちに当座預金口座に入金した。

② ×1年7月1日　A社は、①で受け取った補助金500,000に自己資金1,000,000を加えて備品1,500,000円を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。そのうえで、補助金に関する圧縮記帳を直接控除方式にて行った。

③ ×1年12月31日　決算につき、②で取得した備品について減価償却（定額法）を月割計算にて行う。
耐用年数は10年、残存価額は0、記帳方法は直接法によること。

	科目	金額	科目	金額
①				
②				
③				

＜問題 2＞

次の固定資産に関連する取引（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの会計期間）の［資料］にもとづいて、①～③に答えなさい。ただし、減価償却に係る記帳は直接法によることとし、決算にあたっては英米式決算法にもとづき締め切ること。

［資料Ⅰ］固定資産関連取引

取引日	摘要	内容
4 月 1 日	前期繰越	建物 取　　得：平成 20 年 4 月 1 日 取得価額：¥4,800,000 残存価額：0 耐用年数：30 年　定額法
7 月 5 日	国庫補助金受入	機械装置の購入に先立ち、国から補助金¥2,500,000 が交付され、同額が当社の普通預金口座に振り込まれた。
7 月 28 日	修繕工事完了	建物の修繕工事（当工事は維持のための工事である）が完了し、工事代金¥500,000 は小切手を工事業者に振り出した。なお、前期末に修繕引当金¥380,000 を設定している。
10 月 1 日	機械装置購入	機械装置¥5,000,000（残存価額：０　200％定率法（償却率 0.400））を購入し、直ちに使用を開始した。代金のうち、¥1,200,000 は現金で支払い、残額は小切手を振り出して支払った。
10 月 2 日	圧縮記帳処理	上記機械装置に関し、6 月 7 日に受け取った国庫補助金に係る圧縮記帳を直接控除方式にて行った。
3 月 31 日	決算整理手続	決算に際して、固定資産の減価償却を行う。ただし、期中に取得した機械装置については月割計算にて減価償却費を算定すること。

①総勘定元帳における建物勘定、機械装置勘定への記入を行いなさい。

総　勘　定　元　帳

建　　物

年	月	日	摘要	借　　方	年	月	日	摘要	貸　　方
28	4	1	前期繰越						

機 械 装 置

年	月	日	摘要	借　　方	年	月	日	摘要	貸　　方